

# アウトドアのすすめ 竹嶋瀉でカヌーを満喫しませんか？

白瀬南極探検隊記念館と南極公園、そして今年6月にオープンした多目的屋内運動場など文化とスポーツが融合したエリア。そして、鳥海山を望む竹嶋瀉は今、カヌーに最適なアウトドアスポットとして注目を集めています。



身近にある

アウトドアスポット

鳥海登山と海水浴、獅子ヶ鼻湿原トレッキングや仁賀保高原サイクリングなど、大自然のなかアウトドアを満喫できる舞台が整っているにかほ市。もともと高かったアウトドア需要は、コロナ禍で巣ごもり生活が続くなかでも、「自然と触れ合える」「親子で体験できる」活動として、密にならずに行えるコンテンツとして近年さらに注目を集めています。

そして、もう一つ求められているのが「身近にあって」「お手軽に」です。なにより時間をかけず気楽に参加できることが望まれているなか、皆さんの新たなアウトドアスポットに「竹嶋瀉でカヌーを満喫」をプラスしてみませんか。

今号では、カヌー指導者として精力的に活動しながら普及活動にも尽力している秋田県カヌー協会理事・村上義憲さんにカヌーの魅力とにかほ市における今後の展望などを伺いました。

9月の親子カヌーカヤック体験会は、9ページ「みんなの掲示板」コーナーをご覧ください。  
問合先 象潟B&G海洋センター  
☎43・6490

いきたいと思っています。

——にかほ市の皆さんへ

この夏も親子カヌー教室への参加ありがとうございます。コロナ禍ではありますが、親子で楽しむ子どもたちの笑顔が見られるのはうれしいことです。

にかほ市にはカヌーを行うのにすばらしい環境が整っています。竹嶋瀉には艇庫が整備され、モーターボートまであり、安全対策はバッチリです。

まだ一度も乗ったことがない方や興味があるけど機会がなかった方など、ぜひ声を掛けてください。

今後にもかほ市のカヌー普及のため、楽しさを伝えながら指導者育成にも微力ながら尽力していきますので、市民の皆さんからお力添えをいただければ幸いです。



親子カヌー・カヤック体験会では、指導者により事前にパドルの使い方を学びます。ライフジャケットも体格に合わせて調整するなど安全確保に努めています。



——カヌーとの出会い

日本選手団の活躍に沸いた東京オリンピック2020、まだ記憶に新しいですね。私がカヌーに魅入られたのもオリンピックで、高校3年の夏休みに行われていたロサンゼルスオリンピックでカヌー競技を見たことがきっかけです。実家は盛岡市にあるつなぎ温泉ですが、ちょうど向かいに漕場があったので、すぐカヌーを始めました。高校卒業後は大正大学に進学しましたが、もちろんカヌー部です。当時はソウルオリンピックを目指していたんですよ。オリンピックと言えば今回、由利本荘市から小野祐佳選手が東京オリンピック2020に出場していますが本当に嬉しいことです。小学生から高校生まで指導していましたが、当時のことが懐かしく思い出されたととても感慨深いです。

そして、平成3年に秋田県職員となり同年秋田県カヌー協会の理事になりました。秋田でわか杉国体が開催された際も、指導者として運営と競技の強化に携わらせていただきました。現在は本荘ジュニアカヌークラブのコーチを務めています。

——カヌーの魅力

海や湖を普通に泳ぐのではなく水の上にいること、これが私には別世界に感じられました。皆さんもぜひ感じてください。しかし、日本そして世界に目を向けてみても、カヌーはまだまだ世間一般に浸透しているとは言いがたいですね。アウトドアブームのなか、カヌーは自然のなかで水と触れ合い清々しい気持ちになれます。まさしくアウト

すばらしい環境のなかで

カヌーの魅力を伝えていく

トドアと呼ぶのにふさわしく、最たるものではないでしょうか。今、にかほ市に足を運び竹嶋瀉でカヌー教室の指導者をしています。ほかに候補地がありますが、まずは栗山池ですね。夏でも涼しく、なにより水が綺麗です。魚が泳いでいるのが見えるくらいです。

また、三崎や赤石浜などもおすすめのスポットだと考えていますが、農業や漁業の関係もありますので、その辺はきちんと調整しながら進めて



秋田県カヌー協会  
理事 村上 義憲 さん

由利本荘市在住 - 55歳  
岩手県盛岡市出身。大正大学でカヌー部に所属。平成3年に秋田県職員として採用され、以来、秋田県カヌー協会理事としても本荘由利地域のカヌー普及に尽力している。